

官民協働による運営

第1号刑務所PFI事業について 〈美祢社会復帰促進センター整備・運営事業〉

地域との共生

矯正教育、職業訓練の充実



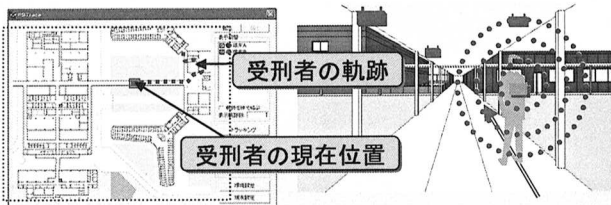
- ・点字翻訳作業
- ・介護技能者養成
- ・農園芸技術者養成
- ・高度なパソコン技術習得

・海外の教育プログラムの導入

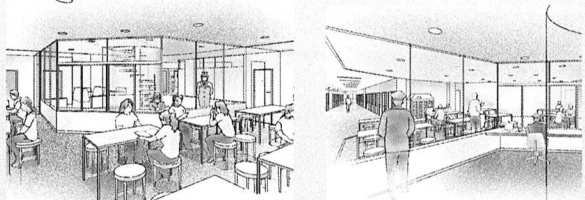
臨床心理士，ソーシャルワーカー，
地域のボランティアも参画

効率的・効果的な警備

- ・ICタグによる位置情報把握



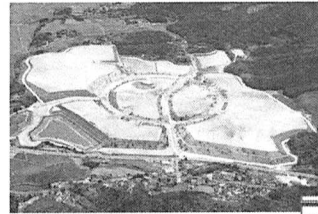
- ・遠隔操作可能な電子錠



- ・効率的運営が可能な施設の構造

民間のノウハウを積極的に活用

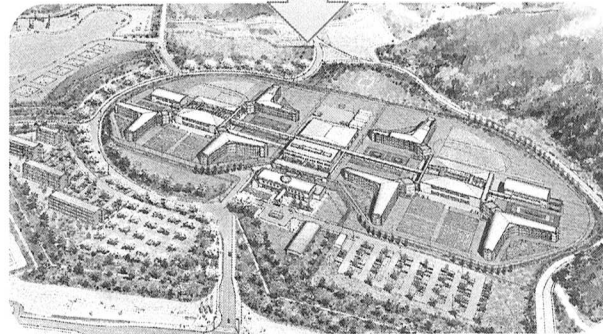
事業予定地 山口県美祢市



50数箇所の誘致自治体
の中から選定



国民に理解され、支えられる刑務所



PFI事業者 美祢セコムグループ

セコム，清水建設，竹中工務店，新日本製鐵
日立製作所，小学館プロダクション，
ニチイ学館，UFJ銀行 ほか

男女初犯受刑者1,000名収容

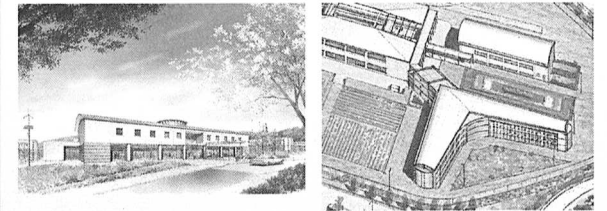
落札金額 約493億円
(契約金額 約517億円)

事業期間 20年

平成19年4月収容開始

国庫債務負担行為
限度額との差
約48億円
約8.5%の削減
・施設の警備，処遇の一部も含め
民間委託
・職員ポストの約半数が民間人

地域に開かれた環境整備

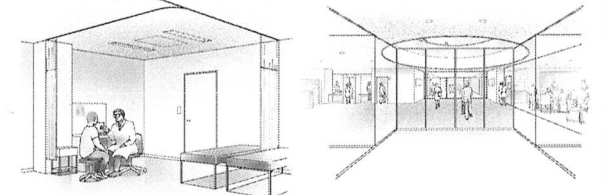


- ・外塀，鉄格子に代わる保安機能導入
- ・広場，構内道路の市民開放

地元資源の有効活用

- ・食材，物資の地元調達

市立病院に診療所を管理委託



婦人科診療所を市民にも開放

業務の大幅な民間委託

~構造改革特区制度の活用~
地域雇用の増大

第2号刑務所PFⅠ事業について 〈島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業〉

効率的・効果的な施設運営

- ☆ICタグによる位置情報把握
- ☆セーフビュー等の最新機器の導入

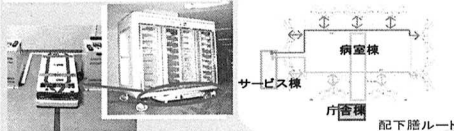


米連邦航空局が空港でのセキュリティ・チェック強化を目的に開発を委託したこのスキャナは、X線の代わりに波長のさわめて短いμ波を利用します。

その情報は、ただちに高速の画像処理機能を持つコンピューターに送られ、鮮明な3D立体映像が作成されます。約10秒程で材質・形状にかかわらず、プラスチック、木材、金属、タバコ（※画像）などあらゆるものを、衣服の上から識別します。

- ☆トリプルフェンスセンサーによる多重保安構造
- ☆無人自動搬送システムによる配下膳

【無人自動搬送システム(AGV)】



- メリット 60名分の食事を作りたての状態です。一度に積みに搬送可能
- 実績 工場や病院・福祉施設で使用され、全国で14箇所に上ります
- 安全対策 人が近づくとセンサーが反応し自動停止します。

- ☆ループプランによる効率的な動線
- 民間ノウハウを積極的に活用

農・林・水産作業の実施

～ 地域資源の力を借りて ～

森林管理作業

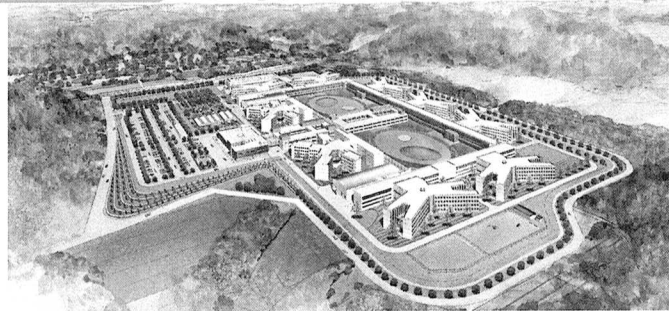
- ☆「癒しの森」を構外作業として整備、地域に開放

援農等の農作業

- ☆ハウスでのバラ水耕栽培
- ☆茶葉栽培、有機農法
- ☆耕作放棄田の整備と「昔ながらの米作り」
- 湾内作業



事業予定地 島根県浜田市



事業者 島根あさひ大林組・ALSOKグループ

大林組、総合警備保障、日本電気、丸紅
グリーンハウス、PHP研究所、みずほコーポレート銀行 他

犯罪傾向の進んでいない受刑者2,000名収容

落札金額 約878億円
(契約金額 約922億円)

国家債務負担行為
限度額との差
約103億円
約10.1%の削減

平成20年10月収容開始

「共生」から「共創」へ～地域と共に創る施設を目指して～

～構造改革特区制度の活用～

業務の大幅な民間委託

- ☆職員ポストの約半数が民間人
- ～ 地域雇用の増大 ～

島根県に診療所を管理委託

- ☆眼科診療を地域住民に開放
- ～ 地域医療の充実 ～

矯正教育、職業訓練の充実

- ☆「調査」と「処遇」を一体化させた効果的な処遇を実現

- ☆労働需要の大きい福祉系職業訓練の充実と社会貢献作業の導入

就労支援の充実

- ☆就労支援組織を所内に設立し、出所後の就労あっ旋等の支援を実施

特別なケアを要する受刑者の処遇

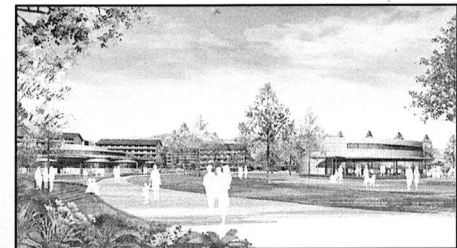
- ☆ホースプログラム等のアニマルセラピーを実施



- ☆事業者と医療法人が協働して設置する社会内処遇施設への特別なケアを要する出所者の受入れを実施

新しい社会復帰コミュニティの形成

- ☆保育園等の市民開放施設を設置



(附随的事業等として実施)

国民に理解され、支えられる刑務所

第3, 4号刑務所PFI事業について

運営PFI事業の実施

運営に特化したPFI事業の推進

施設の建設を伴わず、サービスの供給を主眼とする事業

- ☆ 事業期間: 15年間
- ☆ 設計・建設は国が実施
- ☆ 運営業務の一部をPFI事業として実施
委託費を支払うサービス購入型

事業予定

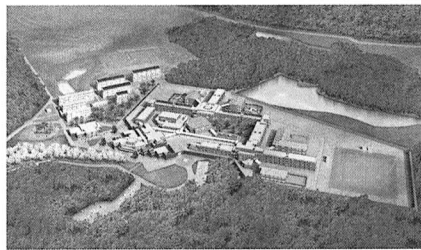
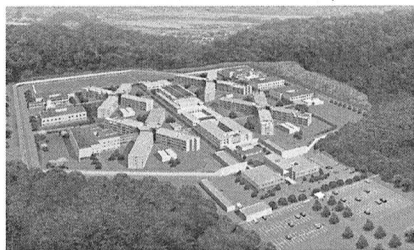
☆ 事業場所等

喜連川社会復帰促進センター(仮称)

(栃木県さくら市, 収容定員 2,000人)

播磨社会復帰促進センター(仮称)

(兵庫県加古川市, 収容定員 1,000人)



☆ 収容対象 犯罪傾向の進んでいない受刑者

☆ 事業開始 平成19年10月予定

地域人材の有効活用

サービスに対する民間の創意工夫

総務系業務



警備関連業務



職業訓練



施設維持管理



構造改革特区制度の活用

～業務の大幅な民間委託～

社会と共生するPFI事業



国民に理解され、支えられる刑務所

刑務所運営に地域資源を積極的に活用